

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date 2023 年 9 月 7 日(YYYY /MM/ DD)		
ふりがな 氏 名 / Name		学生番号/ Student ID
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	総合科学部学部 総合科学科 School/Graduate School	3 年次(Year) (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	☐ ✓HUSA ☐ USAC ☐ UMAP	
留学先大学 Host University	The University of Sheffield (国名/Country : イギリス)	
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	English Language Teaching Centre (ELTC)	
在籍身分 Status at Host University	Exchange Student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)	
留学期間 Period of Program	2023 年 2 月 4 日 2023 年 7 月 10 日 ~ (YYYY /MM/ DD) (YYYY /MM/ DD)	

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	大学二年次に HUSA の存在を知り、個人的に方言が好き、インターナショナルでいろいろな形の多様性があり、教育の水準も高いと言われる、という理由でイギリスを選びました。派遣先校は、キャンパスの雰囲気や物価、そして広島大学と同じ大学生の街ということで選びました。
留学準備を始めた時期（応募する何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	2 年生の 6 月から準備を開始し、3 年次の 7 月に応募しました。（準備期間：一年一か月）
事前準備について(どのような準備をしたか、しておけばよかったか) Preparation Completed Prior to Study Abroad	広大から渡航する人・すでに渡航している人と連絡を取り、頼るべきでした。第二次派遣は第四タームが終わる前に渡航するので、凄くしんどいと思います。僕は向こうでも 2 週間ぐらい広大の課題やレポートをしていました。初の海外生活、シェフィールド大学も初めて、英語も想像以上に難しい、でも頼れる人もいない、授業も履修変更をしたかったので慣れないシステムの中見知らぬキャンパスを歩き回ったり、広大とシェフィールド大学の両方にたくさんメールしたりしてたくさんの手続きを済ます、ということも同時にしていました。留学中最もストレスの溜まった時期でした。この点に関して、広大から一緒に渡航する人、もしくはすでに現地にいる広大生と事前に連絡を取って、頼ったほうが絶対いいと僕は思います。僕はしていなかったため、少しでも現地到着前後のストレスを軽減するために事前に連絡すべきだったと思います。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : なし ビザ申請先 / Location of Visa Application : 提出書類 / Required Documents :
----------------	---

	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process :
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	フラット選び、学生証発行など
出国年月日 / Date of Departure	2023 年 2 月 4 日 (YYYY /MM/ DD)
経路（往路） / Route (Outward)	関西空港→ドバイ空港→マンチェスター空港→マンチェスターピカデリー→リーズ駅→シェフィールド駅→バス
現地でのお迎え Pick-up Service	☐ 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others) ☒ 無/No
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	☐ 有/Yes 有の場合 期間/Period : _____ - _____ ☒ 無/No (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation
帰国年月日 / Date of Return	2023 年 7 月 11 日 (YYYY /MM/ DD)
経路（復路） / Route (Return)	シェフィールド駅→マンチェスター空港→ドバイ空港→関西空港

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount	1,280,000	円/yen
	内訳 Details		
	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)	400,000	円/yen
	ビザ申請手数料 / Visa Application Charge	0	円/yen
	予防接種費用 / Immunization Charge	0	円/yen
	保険料 / Travel Insurance	6,000	円/yen
	教材費（授業料以外の学費） / Learning Material (Extra Tuition Fee)	4,000	円/yen
	宿舍費（住居費） / Accommodation Fee	500,000	円/yen
	光熱費 / Utility Cost	0	円/yen
	食費 / Meal Cost	250,000	円/yen
	通信費（インターネット・携帯） / Internet, Phone	0	円/yen
	交通費（宿舍～大学間） / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	0	円/yen
	交際費 / Social Expenses	100,000	円/yen
	その他 / Others (お土産 費)	20,000	円/yen
	(費)		円/yen
	(費)		円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について（カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等） / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	授業は全部で3つ履修し、基本的にどの授業も毎週リーディングの予習が課せられました。評価方法はテスト、レポート、もしくはそれら両方で、出席による評価はありませんでした。 ①Religion and the Good Life (20 credits): 週2時間の lecture と1時間の seminar 私たちの生活と宗教がどうかかわりあっているのか、有神論や汎神論、儒教や朱子学といった中国思想から仏教までの様々な思想を用いて探求する授業でした。履修している人も少なく、授業内容も触れたことのない内容は
--	---

	かりだったのでかなり難しかったです。また最初の授業で扱ったトピックが僕は一度も聞いたことがなかったのですが、その場の生徒ほぼ全員が知っていて、哲学で扱う内容がイギリスと日本では違うのかなと思いました。 ②History of Ethics (10 credits): 週 1 時間の lecture と 1 時間の seminar 哲学の入門で、代表的な哲学者を週ごとに学びました。 ③Gender, sexuality, and society (10 credits): 週一時間の lecture ジェンダー学で、LGBTQ の性の多様性やそこから見たヒエラルキーなど、Judith Butler といった著名なジェンダー学者などを用いて体系的に学びました。特に Sexuality がいかに歪曲され、性に対する歪んだ価値観が私たちの日常に潜んでいるのかなど、歴史的、そして政治的な視点から見つめなおしました。
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	☐ 有/Yes ☐ 無/No
授業・勉強についてのアドバイス（留学前の履修、留学中、単位取得等） / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	授業数に関しては、僕はほとんど単位を取り終えていたので、40/60 credits だけを履修しました。僕が履修した授業では課題はほぼ出ず、毎週の予習だけしていました。 出席は取らないスタイルなので、しんどいときは無理して出席しなくても大丈夫だと思います。評価方法もテストとレポートがありますが、事前に出題内容を教えてくれて、1-2 か月ほど準備できる時間は十分あります。イギリスの授業はとても厳しいと聞かされていましたが、僕は正直そこまで感じませんでした。セミナーも後半は来た人が僕ともう一人だけ、なんて時もありましたので、そこまで気負う必要はないと思います。ただサボろうと思えばどこまでもサボってしまえる環境でもあったので、友達と図書館で一緒に勉強したりなどしていました。 僕からアドバイスできることとしては、先程と同じですが、一緒に勉強ができる友達を作ることだと思います。僕は Japanese Studies（日本学科）に所属しているイギリスの人と仲良くなり、彼がいつも一緒に勉強している友達のグループに誘ってくれて、一緒に勉強したりしていました。テスト期間も彼と一緒に勉強してお互いのエッセイを添削したりしていました。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生との関係性など） / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	Lecture（講義中心）と seminar（ディスカッション中心）に分かれていて、全体的に先生と学生の距離はより近いのかなと思いました。結構な頻度で先生が面白い冗談を言ったりなんかして、結構フランクな雰囲気です。授業が進んでいました。困難に関しては、留学前に広島大学でたくさんの英語の授業を履修して英語のレクチャーや講義にある程度慣れていたので、特段なかったと思います。積極的に質問をしたり、ディスカッションに参加していました。しかし、seminar では予習してくるのが前提なので、自分の考えや意見が特になかった時などは空気にきついかもかもしれません。 また授業形態で感じたことは、授業の流れや格子がすごくしっかりしていて、どの授業もシラバスどおりに進んでいました。時間内にしっかり終わるので延長は一切せず、先生側も大学側も、授業管理がしっかりしていると思いました。またどの授業でもオンライン形態を導入していて、後から見返したりできるなど、授業を受ける環境がより整っていると感じました。

5. 生活等について / Lifestyle

（１）留学先の住居について / Accommodation

住居の種類 Type of Accommodation	☒ 大学の寮 / University Dormitory ☐ アパート / Apartment ☐ その他 / Others ()
--------------------------------	---

留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	キッチンの蛇口以外の水は飲み込まないようにしていました。また自分は帰国の数週間までは知りませんでしたが、蛇口のお湯は使わない方がいいらしいです。 イギリスの冬は一日中寒く、4-5月ぐらいまでは寒さに気を付けた方がいいと思います。、また天気もすごく不安定です。冬場は基本的に一日中曇りで、寒さに加え雨もかなり降るので、そういった天気が苦手なひとは、メンタル面も気を付けた方がいいと思います。そして設備の仕様上、寮のヒーターが深夜 12 時に止まるので、毛布の他にジャンパーもかけて寝ていました。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management	
少し街に出たところ(City Centre)では、時折人が刺されたりするなど、事件があったので夜遅くに一人でそのあたりをうろつかなないようにしていました。 また夜遅くに Diamond (大学の施設) の近くを歩くのは凄く危ないです。大学周辺から家に帰るルートで Diamond と West Street (大通り) の二つありましたが、途中までは大学に近く、安全だと思っていた Diamond の横を通って帰っていました。しかし、物騒な人と出くわしたり、詐欺にあたりして、West Street から帰るようにしました。後から友達に聞くと、West Street と違い Diamond 周辺は警察がいないので危ない人がよくいるんだ、と言われました。	
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
今のうちに自炊に慣れておくことだと思います。外食は特にですが、基本的に物価が高いので基本的に自分でご飯を作ることになると思います。今のうちに慣れておくと、後々楽になると思います。栄養管理の練習を日本でしておくのもいいでしょう。また、向こうでは適度に日本食を作ったりすることも良いと思います。僕はかなり日本食をもっていったので、定期的に作って食べていました。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
基本的に気候は不安定で、晴れの日のはめったにないです。特に冬は寒く、空はずっと灰色で、雨もたくさん降るので、厚手のジャンパーはもちろんのこと、折り畳み傘は常に持ち歩いていました。しかし雨は日常茶飯事なので、後半は慣れ、少々の雨で傘は差さなくなりました。5 月前半まではそういった気候が続きましたが、そのあとは急に暑くなりました。僕はあまり夏用の服をもっていってなかったんで、夏用の服も併せてもっていくことをお勧めします。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む) / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
インターネットは学内外で利用可能ですが、寮の設備環境はあまりいいとは言えませんでした。冬が一番寒い時期に温水が止まって冷水シャワーを浴びたり、お風呂場のカーテンがすぐ壊れたり、洗濯機・乾燥機が高額なため自分で洗濯物を洗ったりするなど、我慢することも多々ありました。また先ほども書きましたが、ヒーターが夜に止まるので、寒くて目が覚めるということもありました。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?) / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
イギリスはすごくインターナショナルで、現地に住むさまざまな国籍の人たちと友達になれました。全体的にみんなフレンドリーで、友達を作るチャンスはたくさんあると思います。 毎週水曜日にある Japan Society にはもちろん毎週行っていましたし、大学のバドミントンサークルにも入って毎週参加していました。Japan Society でできた友達とは、地域のカフェや遊び場、フェスティバル、クラブなどにたくさん連れて行ってもらったり、ヨークに一日旅行したりするなどして、たくさん思い出を与えてくれました。バドミントンでは、高校時代から頑張ってきたこともあって、近くの高校の体育館でローカルの人が集まってゲームするクラブのようなものが毎週金曜にあるのですが、そこに誘ってくれて毎週のように行っていました。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	
フラットメイトが夜にパーティーをして騒がしくなることがあり、少し注意してしまったのですが、後ですごく気まずくなりました。よほどのことがない限り、耳栓やイヤホンで音楽を聴くなど、自分で対策をしておくのが良いと思います。ゴミ出しや洗剤やゴミ袋の調達など、共同生活のルールなどもあらかじめ決めておくといいと思います。 コミュニケーションに関して、人と話す時やメールのやりとりなどにおいては、使う言葉や話す内容は日本語よりも常に意識していました。日本ではそう感じないかもしれないけど、イギリスではタブーに当たるような話題も多々あるので、	

そこは特に敏感でした。また、意味は通るけど、実は失礼に当たる言い回しなどもインターネットなどであらかじめ勉強しておくのもいいかもしれません。

(9) 日本から持っていくべきもの, 持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?

日本食やお土産（お菓子）、薬は持っていくべきだと思います。また、クレジットカードは数枚持っていくのがいいですし、パスポート以外の英語で書かれた証明書ももっていくといいと思います。またでたら夏用の服也多めに持っていくといいと思います。

持っていくべきでないものは特になくと思います。

(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad

・パソコン・携帯のストレージの整理・点検・修理

→向こうでの授業はすべてパソコンを用いるので、ファイルの整理やストレージの確保、点検・整備は渡航前にした方がよいでしょう。

- ・写真を整理する・できるだけ日本からの写真をもっていく

→日本で過ごす何気ない日常も、向こうからしたら海外生活であり、現地の友達と共有するときに引き出しが増えます。僕は写真を撮るのが苦手だった・習慣がなかったので、例えば友達が料理の写真を見せてくれた時に、日本で同じもの作ったことがあるけど「ごめん、撮ってないからみせられない、、」とか、「そこ行ったことあるけど写真がない」、など多々あり、「あの時撮っておけば、、」と後悔することが何度もありました。また、写真のフォルダーも整理した方がいいでしょう。僕は、iPhoneのストレージを増やそうと焦って間違えてで留学中(2月)に写真をほぼ消してしまったので、万が一に備えてバックアップをとることをお勧めします。

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2024 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2024 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	☐ 4 年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year ☐ 単位不足のため / Amount of Credits ☐ 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate ☐ その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	現在は就職活動と卒業論文をしながら、イギリス大学院留学・給付型奨学金申請の準備もしているところです。プランとしては卒業後 2~3 年以内に帰り、今やっている研究を深め、卒業後は現地就職を考えています。望むキャリアは一つではありませんが、英語教育・出版系の会社で働くことや、もしくは外資系の海外人事や海外営業などに興味があります。
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等について の工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	僕はもともと大学院留学をしたいと思っていて、また留学中は留学に集中したかったこともあって、帰国するまでは就職活動はしていませんでした。しかし 4 月にロンドンで大手自動車会社のキャリアワークショップがあり、友達とそこに参加はしました。もし就活が大学院で迷われているのであれば、そういったワークショップは参加してみてもいいかもしれません。交通費も支給していただけたので、金銭的負担も少ないです。また、現地就職を考えているのであれば、現地で働いている人と仲良くなったりして、情報を得るのもいいと思います。 単位に関しては、留学前にほとんど取り終えていました。GPA との兼ね合いもありますが、履修できる範囲でなるべく多く取った方がいいかもしれません。しかし直前のチームは少ないほうがいいと思います。僕は第 4 タームもかなり履修していたので、授業と準備でスケジュールに余裕がなく、渡航してから大変でした。

7. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍, サイト名 Name of Book or Website	詳細 (出版社, URL 等) Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

イギリスはすごくインターナショナルで、行けばいろんな国の人と出会うことができます。ジェンダーの理解などもより進んでいて、日本では見られないような多様性が身の回りにたくさんありました。現地の子たちもみんなフレンドリーで温かく僕を向かい入れてくれ、いろんなところに誘ってもらったり、連れて行ってもらったりして、たくさんの経験をさせてくれました。初の海外体験でしたが、人生最高の思い出になりました。実際、最初がすごく辛かった分もあって、最後には感極まって友達の前で泣いてしまいました。

この留学で僕が得た最も大切なものは、専門的な知識や英語力・コミュニケーション力もちろんそうですが、向こうでできたかけがえのない友達や、その人たちが与えてくれた一生忘れられない思い出だと思います。この経験を通して、僕は海外にもっと興味をもち、もっとたくさんのいろんな留学生と仲良くなりたいと思えました。今までは英語はある程度話せましたが、いわゆる保守的で、いろんな人と話すことは怖くて、得意ではありませんでした。でも向こうで出会った人達を通して、その価値観が大きく変わりましたし、海外に対してもっとオープンになったと思います。

もし過去に戻れるなら、この大学に入りたかったと思えるぐらい、シェフィールドで過ごした一瞬一瞬が素敵でした。これほどの気持ちになれるとは思っていませんでした。良いことも悪いこともありましたが、本気でまた戻りたいと思えました。

しかし半年という短すぎる留学期間でしたが、ここまで来るのは長く、簡単ではありませんでした。留学前もそうでしたが、留学中はもっとたくさんの乗り越えなければいけない壁があると思います。でも、それらを乗り越えた先には、また違った世界が見えるはずです。目にはっきりと見える形ではないかもしれませんが、必ず成長します。頑張りたいという気持ちさえあれば、必ずやり切れると信じています。これを読んでいるということは、スタートはもう始まっていると思います！！応援しています！！

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

- 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:
 - ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
 - ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
 - ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
 - ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか(将来のキャリアパスも含めて) / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?
- 写真を2〜3枚程度、貼り付けてください(写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい)。
Please add 2-3 photos (within 500 KB per a photo).

留学を終えて、今は凄く満足感や達成感で満ちています。自分のやってきたことが報われた気がするし、この時のために中学から英語を頑張ってきたのかなとさえ思えました。大学3年後期からで周り比べると少し遅い留学かもしれませんが、後悔は何一つありません。まだまだ余韻に浸っていますが、これで終わりでは決してありませんので、今は大学院留学、そして現地就職という次のステップに進んでいます。

印象に残った体験はいくつもあり、決めるのがとても難しいですが、強いというなら友達の家と一緒に料理を作ったり、ドリンクゲームをしたりしたことです。もちろん旅行やフェスティバルなどにも行きましたが、家に行って遊んだり、自分たちの国の料理をお互いに作ったり、公園でバーベキューしたり、ドリンクゲームをしたり、そして時には一晩中語り合ったりと、友達と過ごすそんな些細な日々がなにより幸せで、温かくて、心に残った気がします。

また留学を通して得られた成果はたくさんあります。英語力や専門知識、コミュニケーション力、忍耐力や適応力、大切な友達や体験、新たな価値観など。半年に満たない期間でしたが、たくさんのことを得て、すごく成長することができたと思っています。特に、留学前はコミュニケーションをとるのがあまり得意ではなく、海外に対してそこまで興味がなかったわけでもありません。しかし今は、コミュニケーションに自信がつき、話すことが怖くなくなりました。そしてもっと海外に興味を持つようになり、もっと留学生と仲良くなりたいと思えるようになりました。また日本のことももっと知ることができました。日本の良いところも悪いところも。同時に、日本がいかに恵まれているという国なのかを感じたりもしました。

キャリアに関してはまだはっきりと決まっていますが、興味のあることはいくつかあります。一つは、英語教育関係に携わりたいと思っています。英語の多様性に興味があり、留学中に改めて英語の多様性の必要性を強く感じました。卒論ではそれについて書こうと思っているので、将来はその視点をテスト作成やテスト評価の点で英語教育に生かしたいと思っています。また出版業界や外資系全体に興味もあるので、その当たりで現在は就職活動をしています。

そしてイギリスの大学院での言語学の学位取得も同時進行で準備しています。英語の多様性についてもう少し深く学びたく、卒業後は卒業ビザでフルタイムの仕事をしたいと考えています。この半年が一番自分の成長できた期間だと思っているので、より長く住んで、もっと挑戦していきたいと思っています。今度は学業も頑張りつつ、現地就職を目標に頑張りたいです。



写真1. Taption gym という体育館で撮りました。いつもこのメンバーでバドミントンをしていました。



写真2. バーベキューの後にトランプでドリンキングゲームをしました。Ring of Fire や Trueth and Dare など、日本にはないゲームがあったりしてすごく楽しかったです。



写真3. West street にある Tesco です。友達と遊ぶときはよくここで待ち合わせてました。

注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。 / This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by International Exchange Group.